

2021年4月19日



農産物の収穫に伴って生じるバイオマス燃料の  
持続可能性（合法性）の確保に関する自主的取組について

資源エネルギー庁策定の事業計画策定ガイドライン（バイオマス発電）に基づいた、当社で使用しているパーム椰子殻（PKS：Palm Kernel Shell）の持続可能性（合法性）確保に関する自主的取り組みは次の通りです。

1. 持続可能性（合法性）の確保に関する自主的取組に関して
  - ① 燃料調達事業者を通じて、主要な燃料発生地点（搾油工場）以降の流通経路の把握に努めます。
  - ② 燃料調達事業者に対し、認証取得済み搾油工場からの燃料調達を推奨します。
2. 燃料発生地点の情報に関して

PKS の発生地点である搾油工場の情報について、燃料調達事業者を通じて確認し、出荷される港毎のミルリストが揃い次第情報公開します。

以上